

令和6年度 学校評価アンケート結果

評価基準及び凡例

1 令和6年度保護者アンケート  
令和5年度保護者アンケート (参考)

2 令和6年度生徒アンケート

3 令和5年度生徒アンケート (参考)

4 令和6年度職員アンケート  
(今年度の重点目標)

5 令和6年度職員アンケート (参考)

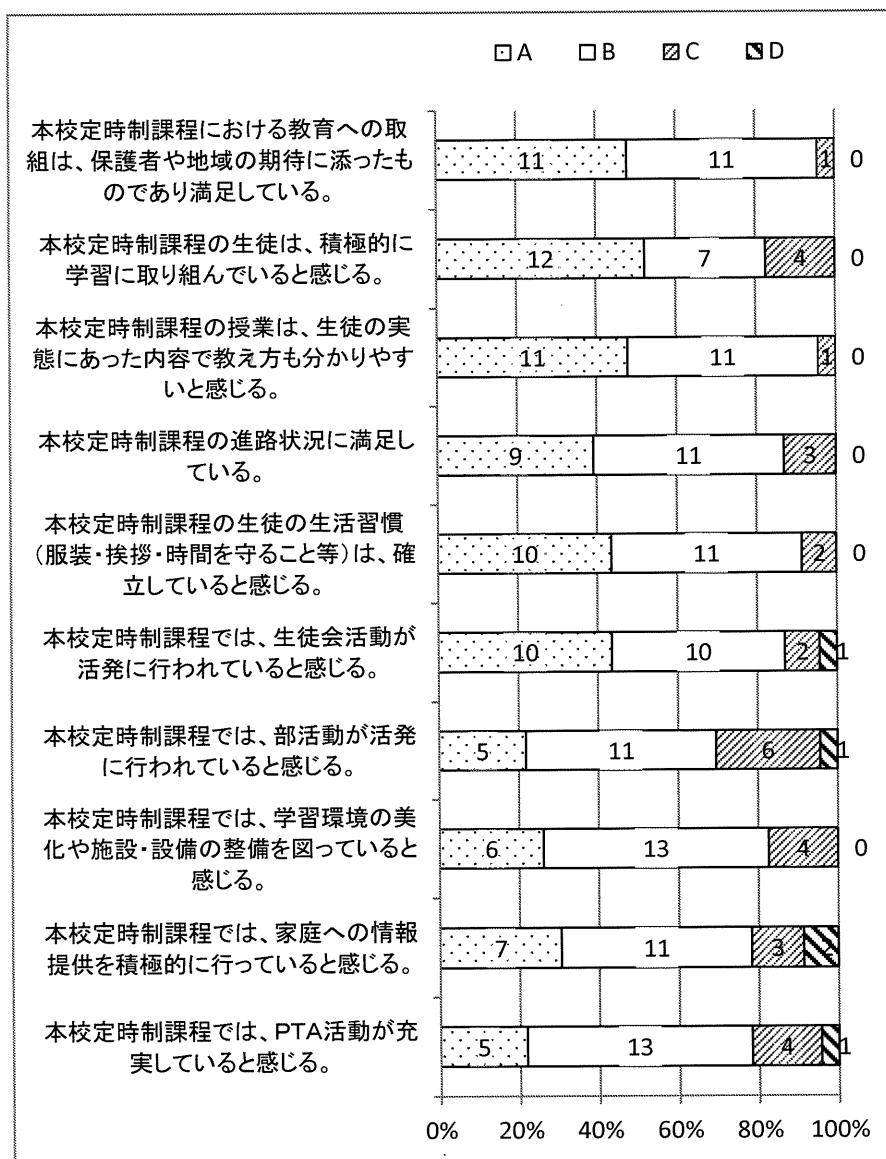
保護者・生徒アンケート

- A よく当てはまる
- B やや当てはまる
- C あまり当てはまらない
- D 全く当てはまらない

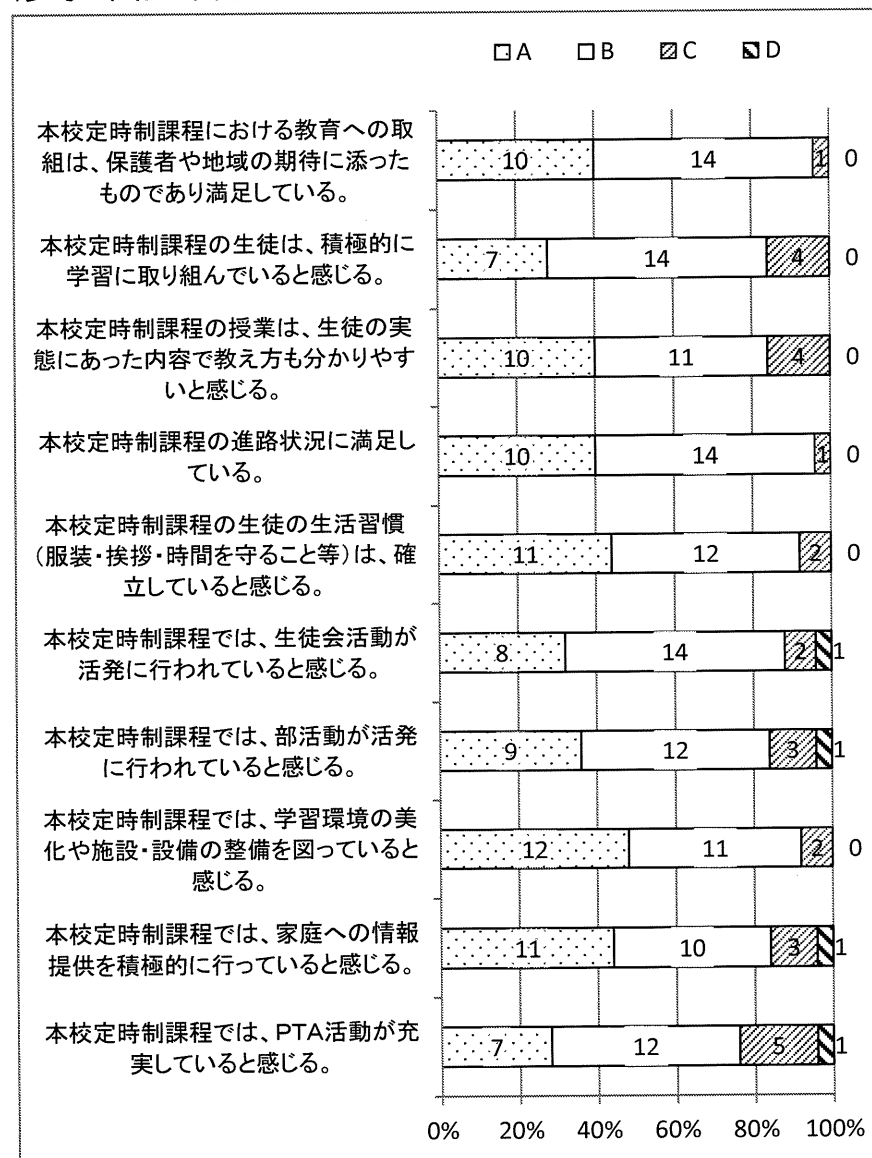
職員アンケート

- A 達成
- B ほぼ達成
- C やや不十分
- D 不十分

回収率 92.0%

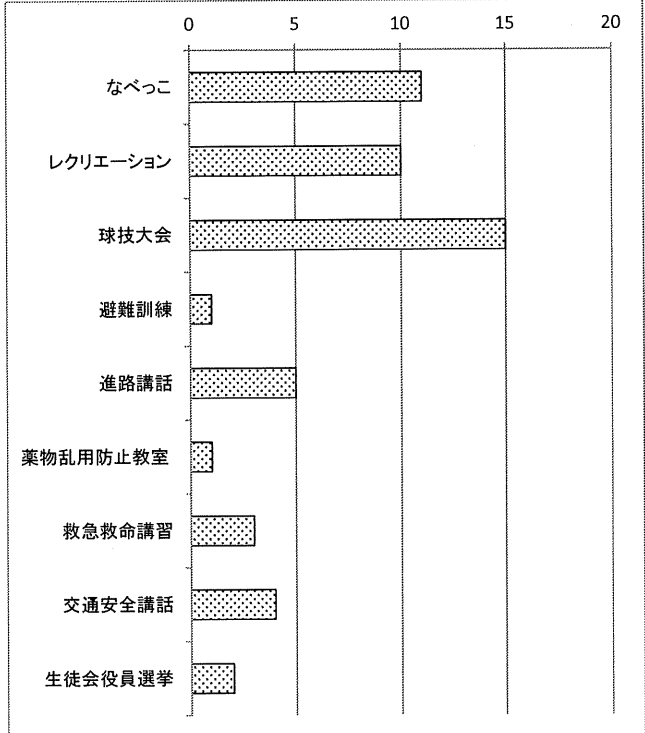
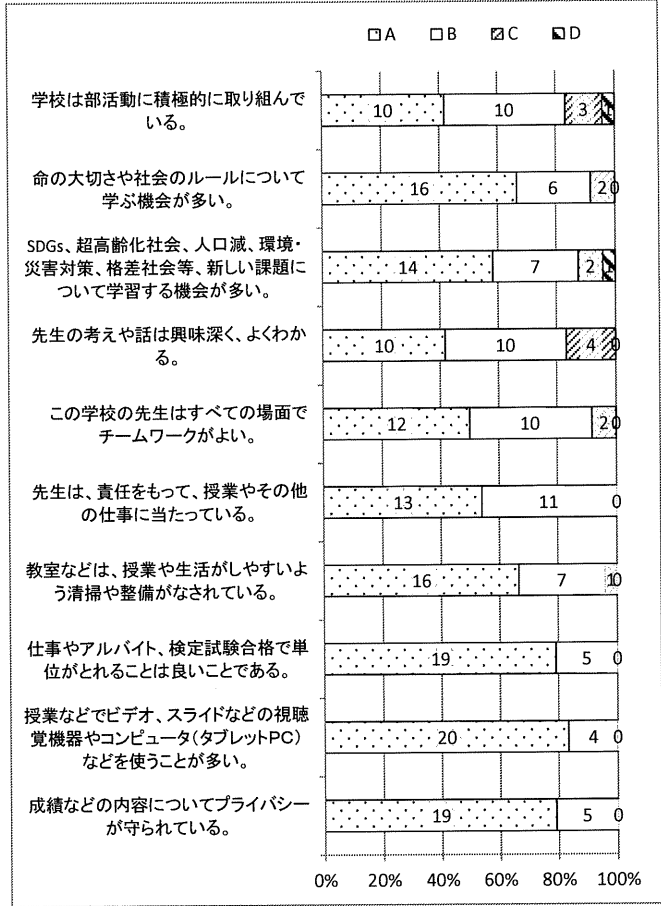


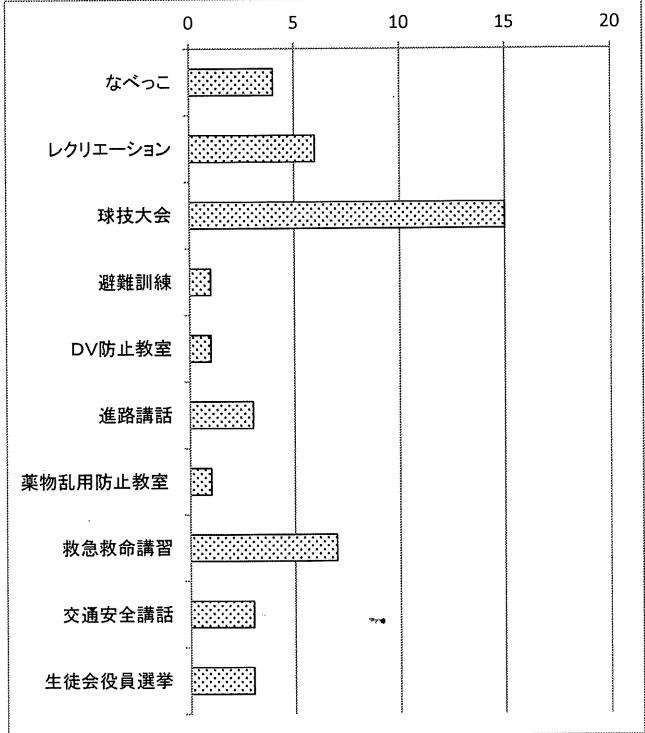
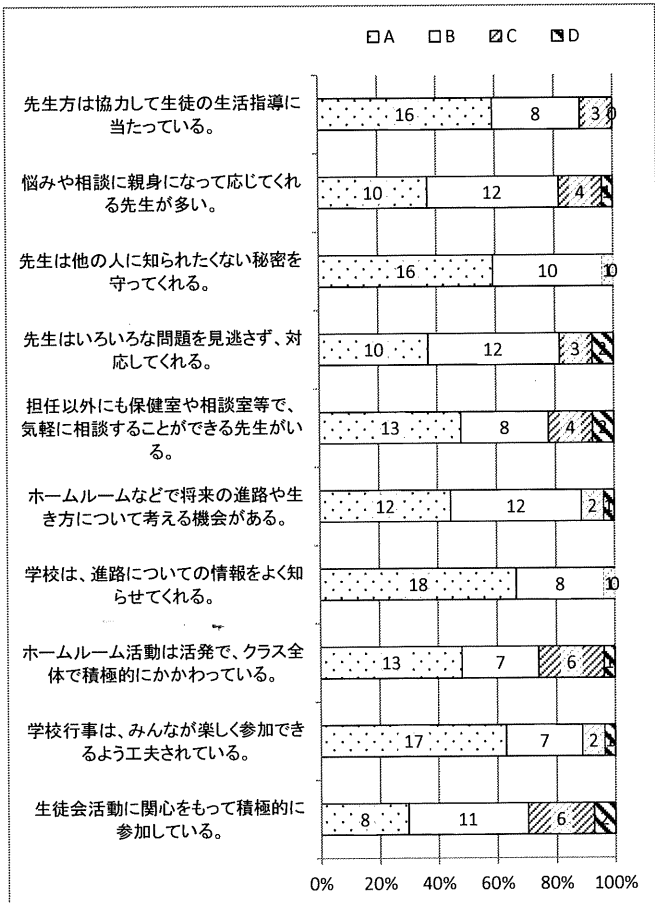
(参考 令和5年度 回収率89.3%)

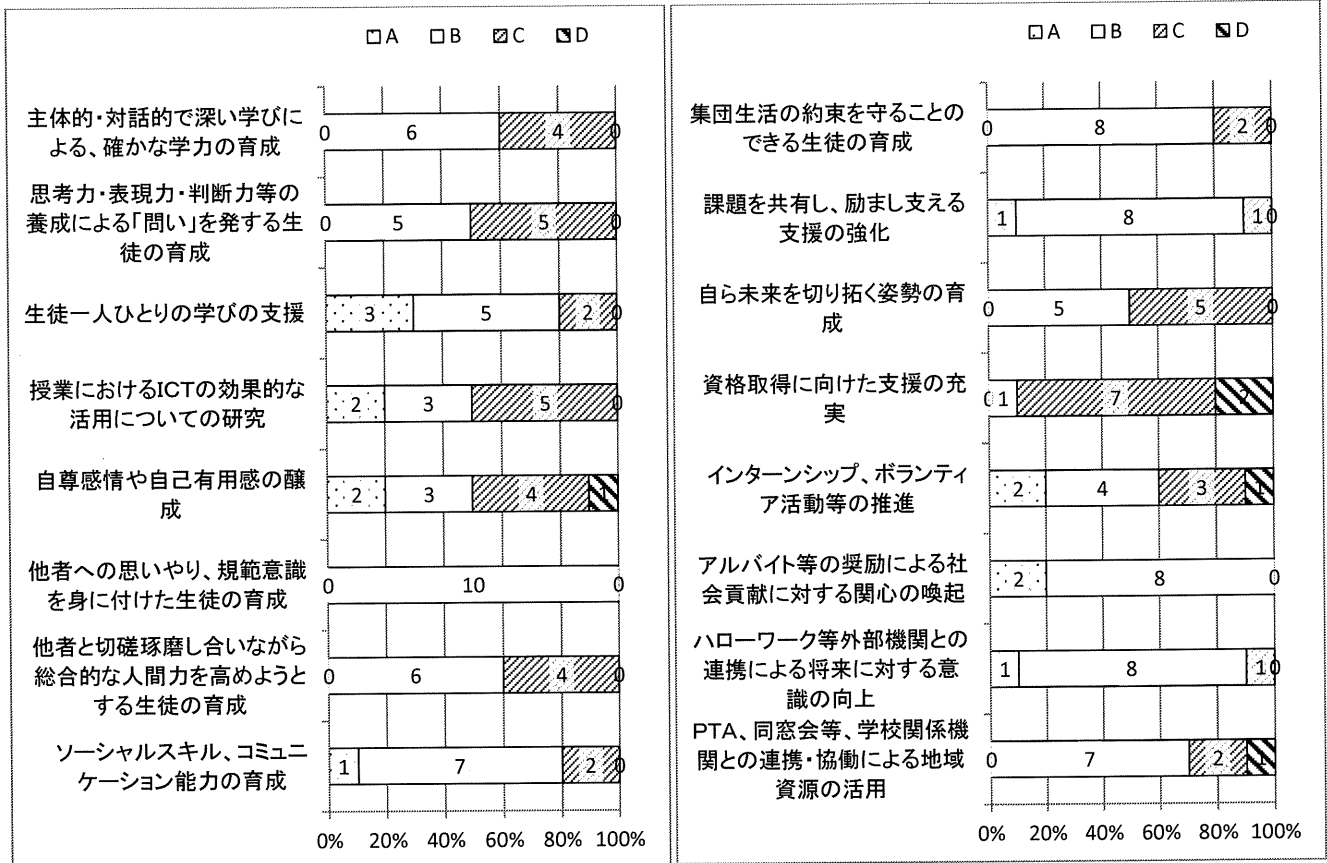


(自由記述) ・バドミントン部で使用する練習用のシャトルについて購入を検討して頂きたいです。

・修学旅行の件について、予算内で抑えてくださいとお願いしたのですが、約3万円オーバーしていました。無理して行かなくてもいいような気がします。人数が足りなくてその金額なのでしょうか？





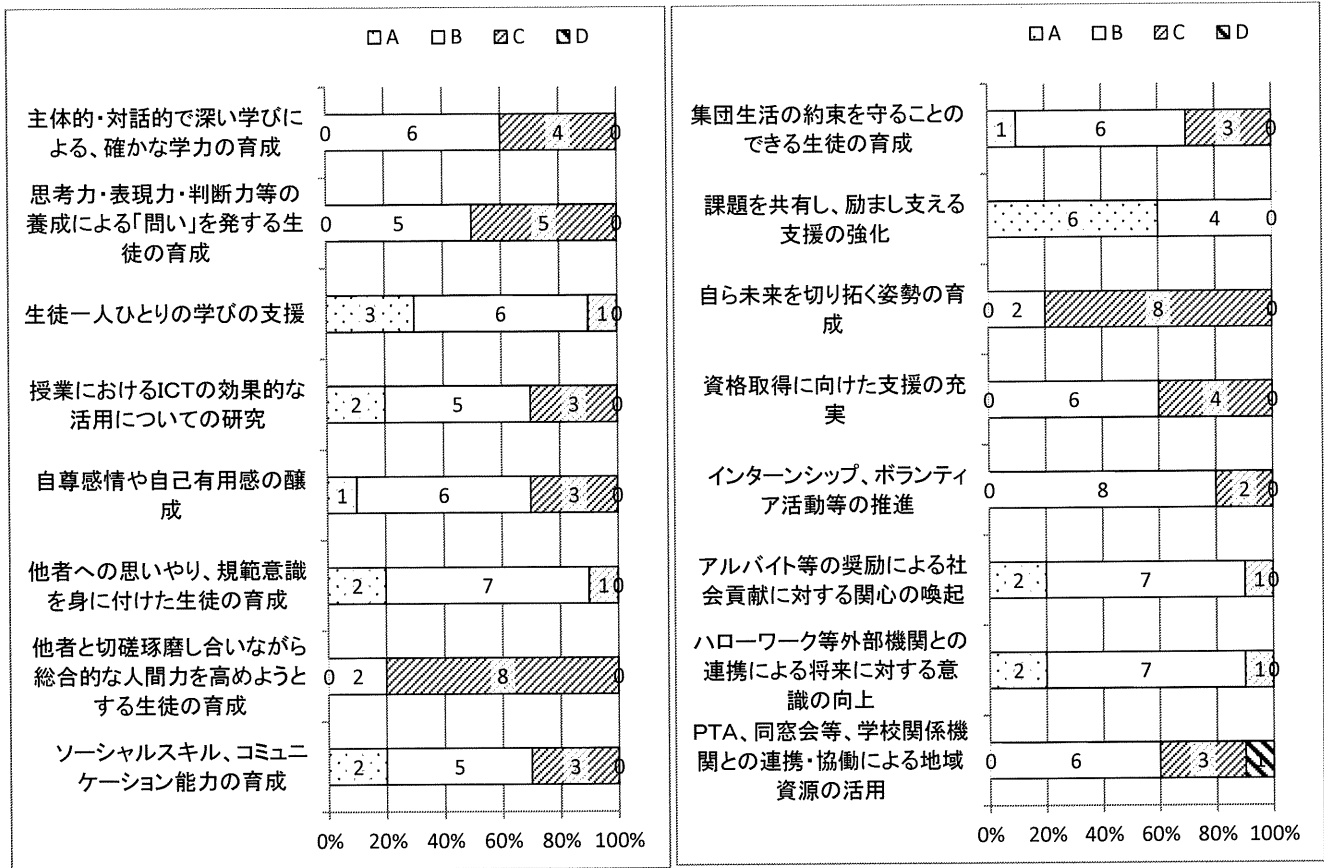


《良かった点》

- ・行事等で生徒同士が自発的に関わる場面が設定できたことが、ソーシャルスキルの向上の面でも、問いや対話を生むという点でも、良かったと思います。
- ・行事以外でも、生徒のアイデアや意見が生かされる場面が増えると良いと思います。
- ・重点目標全てにおいて定時制課程のよさである、一人一人に寄り添った指導が実践され、効果を感じられた。
- ・行事や縦割り活動など、社会性やコミュニケーション能力を高めるための活動が行われた。
- ・学年の枠を越えた交流ができていた。
- ・週1回の情報交換会のおかげで、生徒についての情報共有がうまくいっていると思う。
- ・様々な行事を通して生徒同士や生徒と職員の信頼関係が築けたと思う。
- ・学年を越えた交流や課外活動によるコミュニケーション能力やソーシャルスキルの習得の機会が多く感じ、そこが良かった。
- ・緑日に沢山の保護者等が参加され、保護者等からの期待が伝わりました。
- ・緑日の復活による外部との交流、社会性の育成については、学校教育という面では十分に行われている。
- ・校外に出て活動する機会や、校外の人々・社会に触れる機会を多く設けられた。
- ・緑日、全定合同芸術鑑賞など特活行事の充実による学年を越えた交流の場面が増えたこと。

《改善点》

- ・行事が続いて担当者の負担が大きかったと思うので、担当の分担または行事の精選ができると良いと思いました。
- ・社会性等を身に付ける場面を欠席し避ける生徒、進路指導等で指導に乗らない生徒への対応については、より効果的な策を検討する必要があると思う。
- ・欠席が続く生徒や行事が苦手な生徒等への対応が、やや不十分であると思う。
- ・夜間の定時制なので仕方のない面もあるが、就寝・起床時間が極端に遅い生徒や朝食を食べない生徒がとても多い。卒業後の就職や進学のことを考えると、高校生のうちに改善すべきだと思うが、学校として何が出来るかとなると難しい。
- ・外部との関わりという点で機会を増やすことがあればいいと思う。
- ・学校へ足が向かない生徒のサポートが難しく、家庭と連携がとれない時もあり、指導に苦慮しているのではないかと感じる。(家庭と連絡が取りづらかったり、協力的でなかったり)
- ・単に授業作りの問題の可能性もあるが、全体として問いを発することが少なく、生徒から疑問を持つだけでなく、それを解消するために動く力の育成が必要だと感じた。
- ・今年度、新規の行事が3つ(緑日、映画鑑賞、生徒会企画)増え、全日制との芸術鑑賞もあり、行事の負担が増えました。1つ増やすとすれば、1つ削減するなどの対応も必要かと思えます。
- ・縦割り活動等、全校生徒による関わりの機会は十分に確保されていたと思います。学習面で主体的・対話的で深い学びに至るには、まだまだ段階が必要であると感じました。
- ・授業研究や授業改善に、もっと時間をかけるべきだと思う。



(よかった点)

- ・授業や学校行事、縦割り活動などで、コミュニケーション能力を高める取組を取り入れることで、生徒の適切なコミュニケーション能力の向上を図ったのがよかった。
- ・さまざまなソーシャルスキルの育成のための取り組みはすばらしいです。欠席してしまう生徒が必ず複数名いることが残念です。そのような生徒にも自己肯定感を高めて、他者と関わることの苦手意識を取り除くように継続した取り組みをしていきたいです。
- ・同じように普通の学校生活の中でわかる授業を心がけ、諦めずに最後まで課題に取り組める生徒の育成を心がけていきたいです。
- ・社会性やコミュニケーション能力の育成ということに関して、縦割り活動などの集団的な活動が工夫して行われ、充実していたように感じる。
- ・良かった点は、生徒個人についての情報交換が密に行われている。生徒の指導を学年任せにせず、全員で指導しようとする雰囲気ができていることです。外部機関との連携もうまくいっていると思う。
- ・職員間で生徒の情報共有が出来ていた。
- ・縦割りなどの全校の活動で、異学年との関わりをもつことができた点。
- ・特別支援の教育専門監に授業を参観していただき、授業のユニバーサルデザインについて助言をいただいた点。
- ・生徒の人数が増えて、縦割り活動の活気がさらに出てきたように思います。
- ・生徒一人ひとりに寄り添いながら、丁寧に指導が行き届く体制ができつつある。
- ・学校として、生徒個々の事情に寄り添う指導・援助等に注力していた。

(改善点)

- ・知識や技能を活用する能力を高めるための手立てを検討する必要があると感じた。
- ・日常的な授業研究や授業改善が不十分であると思う。各教科の担当が1〜2名なので難しい面もあるが、授業参観週間や授業アンケートをもっと活用すべきだ。
- ・全校を通して一部の生徒の各分野の能力が劣ることが目立ちがちである。能力の高い生徒がサポートしてあげるという面では良いかと思うが、能力が低くでも自律できるような教育をより充実させていく必要があると感じる。
- ・切磋琢磨したり、未来を切り開こうとする気持ちにはかなり遠いように思う。まず、そのようになりたいと思えるような、自分に対するの自信をもたせたり、失敗してもやり直せるような安心感をもたせたい。
- ・スクールウェアが未完成で、現場での業務に不安を感じることもある。二重手間になったり、確認作業がしづらくなってしまいうのでは無いかと危惧している。
- ・ボランティアなどで地域の人とつながったり、誰かの役に立ったり、感謝されたりする経験がもっとできるとよいと思います。自己肯定感やコミュニケーション能力の向上、勤労意欲を育むことにもつながるのではないかと思います。
- ・食生活に課題がある生徒が少なくないため、食をテーマにした活動をもう少し頻繁にできるとよいと思います。
- ・精密検査の受診率がとても低いため、自分一人で受診するためのスキルを積むような実践的な学習ができればよいと思います。
- ・地域資源の活用について、生徒の視点に変化が見られた。アルバイト希望者が少なく、個人単位で外部との接触が少ない。

保護者アンケートへの返答

1 バドミントン部で使用する練習用のシャトルを購入してください。

シャトルの不足についてはご心配をおかけしました。原則、部活動の予算の中で対応いたします。ただし、シャトルは消耗品のため、多くの破損が見られる場合は、私費会計の中で対応をお願いすることがあるかもしれません。その際は改めてご連絡いたします。

2 修学旅行の件について、予算内で抑えてくださいとお願いしたのですが、約3万円オーバーしてしまいました。無理して行かなくてもいいような気がします。

ご心配をおかけしております。生徒・保護者の要望をアンケートにて収集し、関西方面への修学旅行を計画しました。本来であれば予算の中で収めたいところでしたが、昨今の物価高騰の影響で、予算をオーバーしてしまいました。

旅行会社と相談の上、予算をできるだけ抑える工夫をしております。状況をご理解の上、参加のご検討をお願いします。